

平成28年度第3回佐久市総合計画審議会第2部会

議事録

日 時：平成28年9月6日（火）

10：00～11：45

場 所：佐久市役所6階 602会議室

【出席者】相馬部会長、桃井委員、秋山委員、土屋厚子委員、柳沢委員、伊坂委員、武重委員、佐藤和夫委員、中島委員 以上9名

【事務局】佐藤企画課長、若林課長補佐（企画調整係長）、市村企画員、佐藤、羽毛田係長（土地調整係長）、中村

- 1 開会
- 2 部会長挨拶
- 3 議 事

(1) 第二次国土利用計画（佐久市計画）の策定について

・事務局より、第二次国土利用計画（佐久市計画）骨子案を説明（資料1-1、1-2）

第3章 質問・意見

	資料1-1、1-2 国土利用計画
(委員)	P17 第5節1について、他地域では水源地を外国企業に買い占められる動きがありますが、佐久市ではどうでしょうか。
(事務局)	市では条例を設け、届出を必要としています。噂は何件かありましたが、実際に外国の企業からの買占めは行われていません。ただし、近隣市町村では何件か話を聞いています。
(委員)	太陽光発電施設の利用については文章中に出てきていませんが、土地利用では触れておくべきではないでしょうか。逆に問題が出たところで対策するのでしょうか。佐久市は割と設置について理解があるとされていますが。

(事務局)	<p>P8 中段 (2) 等で適切な再生可能エネルギーの活用を促進しています。また、太陽光発電施設については他市町村よりも早くから、自然環境保全条例の中で、まずは地元と話すこととする指導要綱を設けています。市でも大規模なものかどうかという話もあり、県でも環境アセスメントの対象としています。</p> <p>また、森林の項目に適切な利用を盛り込んでいます。</p>
(委員)	<p>協議の結果、地元でダメとなった場合はどうするのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>実際のところ太陽光について法律の規制が無いため、設置に対し制限はできません。そのため、雨水排水処理などにより指導をし、それに併せて地元の理解を十分に得てもらうよう伝えています。</p>
(委員)	<p>地元がどれほど入ってくるのか仕組みが分かりません。</p>
(事務局)	<p>開発行為と同じで、説明をしてから進めることとなります。ただし、一定規模以上という事であるため、空き地などを活用したものまでは説明を行っていません。</p>
(委員)	<p>農地などで行う場合、税金などはどういう仕組みになるのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>基本的に農地には置けないため、宅地か雑種地に転用する必要があります。</p>
(委員)	<p>宅地とした場合は宅地並みの税金になるということでしょうか。</p>
(事務局)	<p>近傍類似という事になるので、山の方などでは安い場合もあります。</p>
(委員)	<p>上田では太陽光発電が多く、宅地とすれば税収が増えるとのことでした。</p>
(事務局)	<p>農地に建てるのが困難であるため、事例を見ると山林を使っているようです。</p>

<p>(委員)</p>	<p>ボリュームがありますが、無秩序なものを防ぐ取組や仕掛け作りが必要です。住民の活動を支援する取組や、行政主導の取り組みなど、読んでわかるようにメリハリをつけていただきたい。また、重要な計画に落ちが無いように気を付けていただきたい。</p> <p>また、荒廃農地の林地化はそのまま言ってもいいものでしょうか。手を入れた林なのか雑木林なのかという具体例を入れた方が良くかと思われま。荒れた山にするのではなく観光資源に使えるようにしていただきたい。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>再生不可能なものについては新たな生産の場として山林化していきたいと考えています。</p>
<p>(委員)</p>	<p>荒廃することにより、鳥獣被害が里まで下りてきてしまう不安があります。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>農地の考え方としては基本的に保存することとしています。農地の荒廃やその山林化は実際に発生していることから、まずは荒廃農地の発生を抑制したいと考えています。また、再生可能なものについては、既に農地に戻す取組を進めています。</p> <p>しかし、実際に農地に戻らないものもあることから、これまでの計画の農地を元に戻すという内容だけの表現から、今計画では山林になっているものは森林としての利用を図りたいと考えています。</p> <p>また、言葉の使い分けを行っており、優良農地の確保を図ると表現している場合は、農地転用の許可を出さないという姿勢を示しています。促進していくという表現の場合は市が働きかけをしていくということを示しており、駅周辺の宅地化などに促進するという表現を使っています。</p> <p>また、荒廃農地については担当者と相当な議論を詰めており、農地に戻すことは難しいとの事です。</p>
<p>(委員)</p>	<p>林地化すると表現することで、さらに荒れたイメージを受けてしまいます。整備された森林というような表現にした方が良くないでしょうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>表現については検討します。</p>

<p>(委員)</p>	<p>自然のままの林地なのか、手を加え活用できるものなのかが、分かりにくく感じます。</p>
<p>(委員)</p>	<p>行政の方で、どういうイメージを持って手当するかという事が見えてこないように思われます。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>内部で議論する中で山は2種類あり、一つは植林をしたもの、もう一つは自然の状態である山林となっています。植林をし続ける山が良いのか、自然に木が生えて植生が安定化していくものが良いのかという所は議論が分かれるところとではあると考えます。</p>
<p>(委員)</p>	<p>手の入れ方により景色をデザインするのは行政の役目だと思われ ます。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>例えばカラマツの植樹による材木の生産、水源としての利用や自然環境としてそのままの利用など、それぞれ違った使い方が考えられます。このため、その地域での使い道にあった整備等が必要です。</p>
<p>(委員)</p>	<p>里山というと景観が保たれている印象があり、市の財産となるので、人工的に手を入れるなど、自然をうまく使いデザインしていくべきだと考えます。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>放置するのではなく、うまく活用していきたいと考えています。</p>
<p>(委員)</p>	<p>文末表現として「進めます」「図ります」「推進します」等の使い分けはあるのでしょうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>計画上の表現ではありますが、「推進します」「進めます」は市が積極的に行うものです。また、これより度合いを下げた表現として「図ります」「努めます」を使っています。このほか、市民や企業に促すこととなるものは、促進するとしています。</p>
<p>(委員)</p>	<p>市民に「啓発する」という表現も今後は必要かと思われます。</p>

(事務局)	土地利用の計画ではあるので、具体的な事業や内容を表現するには難しいところがあります。
(事務局)	今回は骨子であるため、文章化したものを改めて示したいと思います。
	資料2 総合計画 土地利用、市街地
(委員)	22ページの「(2) 機能の集約とネットワーク化」について、1点目に「各拠点の活性化」や、2点目に「公共交通などによる円滑なネットワークの構築を図る」と記載がありますが、どのように充実させていくのでしょうか。
(事務局)	<p>現在、生活環境課において「佐久市地域公共交通網形成計画」の策定を進めております。(平成28年度中に策定予定)</p> <p>人口減少や少子高齢化の進展を踏まえ、将来にわたって持続可能な公共交通体系の確立を目指すため、充実した公共交通ネットワークの構築を図ってまいりたいと考えております。</p>
(委員)	この地域は車社会ですが、高齢化が進むことにより、自由に移動することが難しい高齢者が増加すると思います。公共交通ネットワークの構築に当たっては、そういった方々の移動手段の確保について考えることも重要だと思えます。
(事務局)	市では、平成24年10月より佐久市生活交通ネットワーク計画に基づき、臼田地域及び望月地域においてデマンドタクシーを運行しております。いずれにいたしましても、いただいたご意見は担当課に伝えさせていただきます。
(委員)	よろしく申し上げます。

(3) その他

- ・次回会議の日程について連絡

4 閉 会